

市政に関する地域座談会実施報告書

開催日時	平成26年6月26日（木）午後7時30分～9時
会場	田代公民館
地域座談会の内容（意見交換等の内容等）	
<p>① つつじ公園は、つつじの数を寒河江市の人口と同じ数を目標にしていると言っていたが、今はどれくらいの株数なのか。</p> <p>→ 3万株と言われている。市政施行60周年記念事業で、11月に記念植樹を行い、増やしていき、東北一のつつじ園にしていきたい。</p> <p>② さくらんぼ「紅秀峰」の拡大について頑張っているようだが、田代のさくらんぼもおいしいと言われる。自信を持って頑張っていきたい。市としても、山間部に、てこ入れをお願いしたい。</p> <p>→ さくらんぼは寒河江の宝として、みんなで発展させていきたいと思っている人は多くいる。とりわけ、紅秀峰について、県内でも一番多く作っており、佐藤錦と比べても品質も良い。生産を拡大していきたいが、農家も作るのが大変。補助制度をつくって平成27年度までに50haを目標としているが、現在は37haにとどまっている。何とか拡大していきたい。朝日町では、リンゴを台湾で販売しているが、昨年からは寒河江市でも紅秀峰を山形県の協力を得て試験的に台湾に持っていった。市民の皆さんの誇りとなるようなさくらんぼの生産の拡大をしていきたい。農家の皆さんも高齢化が進んでおり、昨年からは、高所作業車の補助制度をつくった。作業車は70万～90万円位するが、1/3を市が、1/6を農協が負担する。昨年は12人が利用した。労力の削減を図っていく算段も必要。シルバー人材センターの活用なども必要か。また、将来のさくらんぼづくりのモデルになるような団地をつくっていくなど、農協と話を進めている。農家の皆さんの意見、要望などを聞いて進めていきたい。</p> <p>③ デマンドタクシーの乗車率をお聞きしたい。また、今後のデマンドタクシーの展望について考えをお聞きしたい。</p> <p>→ 25年度の市全体の乗車率は14%程度と思ったほど利用が伸びていない。田代では約半数の方が登録している。自分で運転出来る人も多いと思われる。</p>	

デマンドタクシーが利用できない地区もあり、市内循環バスを作れないかと考えている。市で実施するのは難しいので、自動車運送事業者の営業妨害にならないように、自動車運送事業者に運営をお願いすることとなるかもしれないが、利用する人がいるかどうか調査をして判断していきたい。

④ デマンドタクシーの説明会（一昨年）の際に、田代→白岩でも500円は高いので、少し安くしてもらえないかと話をしたが、返事をもらっていないのでお聞きしたい。

→ デマンドタクシーについては、平成23年11月に市内5地区を対象として、実証実験運行を行い、その後、平成24年11月から利用いただける方の区域を広め、また、共通乗降場を多くするなど、多くの方から利用していただけるよう見直しを行って現在に至っております。

料金体系につきましては、制度導入時、国道112号線で運行する乗合バスの運賃が、寒河江ターミナルから白岩までが400円、同宮内までが550円だったことなどを勘案し、国・県・民間事業者などの関係団体及び利用者の代表により構成される寒河江市公共交通会議での協議を経て、現在のデマンドタクシーの利用料金を設定しました。

ご質問いただきましたように、目的地までの距離に応じて利用料金を設定した場合、田代・白岩間では利用料金が安くなるかもしれませんが、目的地などによっては、利用料金が今より高くなることも想定されます。

利用距離に応じた料金体系の導入は、利用者の負担が増えるなど課題も多いため、今後、関係者などから意見を聞きながら、料金体系のあり方について研究をしてまいります。

⑤ 地域づくり計画で計上された28項目の達成状況は60%台で70%まで到達していない。市には、これからも協力をお願いしたい。計画の中には、田代小学校の分が含まれていないので、地域づくり計画も見直しをしたい。たしろ亭も市長から看板を書いていただきありがとうございました。年4回実施することとなったが、食の安全の観点から、隣がプールで、水を交換しないのでボウフラが発生する。プールの水の交換をお願いできないか。

→ プールについては何とかしたい。それから、地域づくり実施計画の中で、実施出来ていないのが、「温泉掘削」と「温泉を活用した地域活性化」だが、試掘した結果が1,000m掘って40℃だと、厳しい。近隣では、朝日町りんご温泉は、975mで50℃、奥大江柳川温泉は、800m掘って60.2℃。

もう一回本格的に調査をするかどうかだが、温泉がダメなら、他の活性化策に取り組んだ方がいいのか。地域の皆さんとお話をさせていただきたい。

⑥ 防災マップに、田代公民館が避難場所として載っているが大丈夫なのか。

→ 田代地区は、大半が土砂災害警戒区域となっており、避難生活をするための避難場所として指定できる公共的な施設がなく、白岩小学校が避難場所となります。

しかしながら、白岩小学校への避難途中で、道路への土砂崩落などに被災するケースなども考えられるため、災害時に一時的に身を守るために避難する場所、また、地域住民等の集合・待機場所として活用するための場所が必要となります。

田代公民館については、土砂災害警戒区域内であるため、避難生活をするための避難場所としては適当ではありませんが、市の防災無線や調理施設なども整備され、宿泊も可能であり、一時的な避難場所として活用できることから、土砂災害ハザードマップに記載したものです。

また、山形県の土砂災害警戒区域の見直しに伴う、新たなハザードマップの作成を今年度中に行う予定です。地域の方と話し合いを行い、わかりやすい内容のハザードマップを作成したいと考えております。

⑦ 防災無線について教えてほしい。

→ 今年の12月位に市内一斉に整備を進めていく予定です。スピーカーから聞こえない人や、助けが必要な人のために、防災無線の端末を町会長さんにもっていらって、そこに情報を提供し、町会長から他の人に連絡していただくこととなります。

⑧ 災害箇所を工事してもらっているが、幸生一田代線と併用林道の交差する所から、田代簡易水道の水源池の間のカーブの真ん中あたりに土嚢が積んであるだけになっている。このままなのか、今後、工事をするのかどうか。

→ 平成25年度の豪雨災害による被災箇所の復旧工事は完了しております。

土嚢を積んだ箇所は、昨年の災害時には崩れておらず、ブロック積工事を施工する際に余掘した部分です。

現時点では特に問題がないと考えており、当該箇所を改めて工事を行うことは考えておりません。

⑨ 前田代上にいるが、サイレンが聞こえない。災害時に心配だ。

→ 防災無線を整備し実験を行いながら設置するので聞こえるように配置します。

万が一の場合は、必要であれば端末の機械を持ってもらう場合もあります。

⑩ 先ほど温泉の話聞いたが、やるには大変だと思った。これから、地域づくりの人と話し合いをして良い方向に向けてよろしくお願ひしたい。

→ 温泉がどの程度の確率で出るのか。もっと温度の高い調査結果ができれば、期待が持てるのだが。他のところでは沸かしているところもある。温度が低くても沸かして観光のように出来るのか、見通していく必要がある。地域の皆さんと話をしていきたい。

⑪ 前回の座談会で、市民体育館の柔道場の網戸の件を話したところ、すぐに対応していただきありがとうございました。また、田代小学校閉校の際もありがとうございました。PTAとして感謝申し上げます。さて、スクールバスについてですが、中学生は、朝の便は乗れますが、夕方は部活動もあり、乗るのが難しい。保護者の送迎が当然とも思いますが、勤めの関係で迎えに行けない場合もある。もっと、スクールバスが利用しやすいとありがたいのだが。

→ 運行について調整中です。結果は、学校を通じてお知らせいたします。

⑫ フローラ・SAGAEの美術館を作品の入れ替えなどして魅力的な展示をしてみてもどうか。

→ 美術館は、郷間正観氏の常設展と市民ギャラリーの二つに分かれており、企画展をする場合は市民ギャラリーを利用している。学芸員的な人を配置して独創的な企画に取り組んでいるが、空調の関係で高価なものは展示するのが難しい。出来るようにするには、ハードの整備も必要となってくる。

⑬ 東日本大震災の時に、ガソリンの入手が困難で大変だった。子どもを学校まで送ってくださいと連絡があっても、田代地区は、自動車がなければ行動できない。災害時には、他の都市との連携などをしていくのか。

→ 実際の災害時は、寒河江市だけでなかったため、他の地域から分けてもらうなどの対応は難しかった。東日本大震災後に、石油商組合と災害時には、公共的なものに優先的に供給してもらうような協定を締結している。公共的なものの範囲だが、例えば、障がいを持った人が燃料がないと機械が動かないなど生活上支障をきたす場合は優先的に支給することも含まれていると思う。協定を活用しながらなるべく支障のないようにしていきたい。

⑭ ゆめタネ@さがえに、花の苗を納入しているが、今年の発注が3月下旬で、今年は5月上旬であった。花は種まいてもすぐ出来るものではない。発注する側は、花の性質についてわかっているのか。

→ 申し訳なく思っている。お願いする場合は、早めをお願いすることとしたい。
事業の委託先のイベント会社の対応もあって遅れてしまったようだ。フラワー
ロードでも何十年も協力していただいている。きちんとした対応をしたい。

**⑮ 慈恩寺が国史跡指定されてよかった。寒河江市の歴史的な観光施設を、今後、
どのような形でPRしていくのか。さくらんぼ以外の着地型の観光について、考
えをお聞きしたい。田代も歴史があるので慈恩寺とともに発展していきたい。**

→ 慈恩寺について、タクシー業者から聞くと、かつてなく賑わっている。さくら
んぼは言ってみれば季節商品。年間を通しての観光資源は歴史的な資産、遺産。
慈恩寺以外でも市内観光地へ足を運んでいただき、できれば宿泊していただきた
い。また、寒河江市だけでなく西村山郡を含めた広域的な観光を一市四町で協力
してルートや素材を提供していく。とりわけ仙台方面の人に訴えていく。昔は、
さくらんぼ狩りは北関東からバスツアーで来ていたが、今はコストが高くなり、
ツアーが組めない。宮城・仙台あたりから、マイカーで来る人が多くなった。タ
ーゲットを見据えながら、観光ルート、素材をつくっていききたい。

仙台は日帰りが多い。対応できるような施設、食をつくっていく。今年さくら
んぼマラソンの参加者に「割引券」を配付し、回収状況を見ると、「ゆ〜チェリー」
と「JAアイス」が多い。また、「そば」の割引も多かった。効果があった。歴史
的なもの以外でもイベントを利用し、観光客を呼べる素材、食が大事。

**⑯ 田代小学校跡地でレストランをしているが、小学校の体育館や校舎を利用して
老人のトレーニング施設とか出来ないか。これに、温泉があれば言うことはない。**

→ 夢のある話と思う。レストランの他に、教室の活用、体育館の活用、元気なお
年寄りの健康づくりの拠点施設など、地域の皆さんと話合っていきたい。